丹鶴叢書

濱松中納言物語 一下

117
105
2

東京圖書館

和書門 叢合類 別ね函 二架 二號 一〇五冊

国立国会図書館　タイトル『丹鶴叢書』　請求記号 117-2

ガラス使用

濱松中納言物語一 下

故椛原芳楚納本
椛原家蔵

七月七日アリまいまにをいとうかやうもうさく
なるいむ家る人のみふまおきあひ給るほうの
てんとりふにはまくまゐつもこゝはくまあそひし給
ナシ一本
アリ中納言めさまくまゐるまゐ人まゝのことのと
まくちゝてろなまめさくあそひの道アリ
てろといまほくさしさくまくおくまくや
ものゝ給ひん一のちち后まちにようほおとゝま
くひさまくさまるまゐんまいまくおさまるかう

国立国会図書館　タイトル『丹鶴叢書』　請求記号 117-2
ガラス使用

やうくるしんのきさきはをあとにえたるものは
はきはきにはそれはをさるへきと中納言はおしは
このまゝ給くまこのるほとの夕風まさしふきく
月さしいてゝおり詠きうしみのとゝをいまく
なりゆんのひつゝ天のあらむよくはいるをな
ま地のあらはまんまのえことなんとおしのへし
はきまむし給へる御言しき后の御事をれ
もひいて（ナシ一本）のくるなる屋しと中納言ゆくりしう
みえてまつるうしさつつきこまゐつまくさし給ち
まるを半まはれまこる

かはし言むちきまのえて給あひそ（や一本）なりき
どれ山にうちのよそうしこれはまゝとそうしたる
うしんえてけり（小一本）とおほまうしえてへひ志れて此
まゝまのひとく
ちきまゝむすとのしのきりしまとくても
つきをぬものなくあるとそもふまやうはいこし
うもくまやさせてまくまゝ勢とけてのうちも夏
のやうなりしまをちつろりしのてくさつま
ともうる夕（よ一本）の人なりまりしかまいみしくつゝむ
るりあるともいとのくれあとこえさしまり女も

まことにうきよのなかのつねならぬことわりをみるにつけても
人(ふた本)のかずならぬわれもいかでかとおもふにきえぬものは
むねのうちにこそありけれ
ひとりねのとこのうへにおきふしてなみだにうかぶわがみなりけり
もろともにいみじうちもむつびつつ
きるぬるさともおもはぬ人(ふた本)ありきとてまたもあふべきたのみだにせず
ゆくすゑをゆくゆくとおもふにもかなしきことのまさるなりけり
さまざまのことをおもふにあはれなるは
夜(よ本)ごとのつきをながめあかすなりけり

濱松

丹鶴叢書

まことにうきよのなかのつねならぬことわりをいでてきてみるにつけても
人(ふた本)のかずならぬわれもいかでかとおもふにきえぬものは
むねのうちにこそありけれ
ひとりねのとこのうへにおきふしてなみだにうかぶわがみなりけり
もろともにいみじうちもむつびつつ
きるぬるさともおもはぬ人(ふた本)ありきとてまたもあふべきたのみだにせず
ゆくすゑをゆくゆくとおもふにもかなしきことのまさるなりけり
さまざまのことをおもふにあはれなるは
夜(よ本)ごとのつきをながめあかすなりけり
さうし(二本)
このまのみちをさしてこのきみのくるべきものをまつのかぜかな
きのむかしなじみたるひとのもとにまかりてかへりてのちつかはしける
はかなくてへにけるとしをかぞふればわがみにつもるものはなりけり
しう(く本)れてもしろくめでたし
□(已下処々缺文諸本同)とくまれひと
うのもとにてうちにはをけて□とてもめで
□□□

濱松

もとゝ[illegible]なかなかに[illegible]も一本

拾遺百番哥合九四番右　河陽縣后

このうさゝりしたまとゝ[illegible]いるしれくしかり

風葉雜三　河陽縣后　よ一本哥合凡

なかなかく人のまつらさつ[illegible]むおほせなるる

ふとゝろのうちのあまたしもえしのひのこうれ

ほさしこゝ[illegible]なかしこまきまいぬ　うち一本

をちたちのしらぬ山路もなかなけれ

ぬるさんをいしこゝろ[illegible]ちもとゝ[illegible]

としくみまの内[illegible]いえもいたひのをまむ

まるかとまるれ[illegible]の夏のなこまいまこなる

りしたこのへまそのよこのよむしそてのうけれ

濱松

[illegible]ふのひのうしもとほるまうまく

よれつまの[illegible]ものうしも[illegible]

きてひのこのことゝ[illegible]ほひにまかへるこゝち

まるうしおもひもよくひなこのうきろまるこ

もとまゝひあるしの大臣のくん　ナシ一本おもしろと

[illegible]おもろさくいしうおしとゝひこゝる人

なかしこゝ[illegible]ひそのかいこなかく一本こくれ

[illegible]

うゝ[illegible]ぬるうしよろてひなりけるこうし　つ一本

とけをうそこあるまゝ[illegible]

国立国会図書館　タイトル『丹鶴叢書』　請求記号 117-2
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『丹鶴叢書』　請求記号 117-2

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『丹鶴叢書』　請求記号 117-2

ガラス使用

中納言のゝのをとう法しこゝろをとゝまくそ
おもはるまへくゐん事のこなるをいくなやこ給
しまし（しゐ一本）ハいかをまましとう出しきふものおもえ
きすゝろしまの人こゝ人あつかひてまつる
こゝ法きなくあまれこみこのうまの出給しをも
こゝかとちゝれとおほしよろこひ世中ふのしつき
あつかれしあまさまこのときれほしあまきるふ
いとすゝろう事出ともまくいとあまれこゝもおほ
さ出てけ人を法絶するりしちきまのほともお
法しれほし法を御ゝくれいとをんすゝ

濱松

なくまひらかりおもはるふまのなくれかし
よろこひてすゝろしまの人こゝくしに志の
むくることのやうにくさるへき人のちあゆる（すゝ一本）な
とゝもえんてこゝくしかし志のひてあまなる事
のやうにくあくしやしなふふにまくしものをり
給つるやうにくおしきまてうほくし事かり
れかきかりなる給をこゝさ給もこゝろふとゝ
こゝてまつるをくいかなるへきこ人よりとさをかふ
あまれにおほさ出るこのるる事も中納言を
いてかしまる給はむそのやしものへまぬ出ハこの

濱松

国立国会図書館　タイトル『丹鶴叢書』　請求記号 117-2

ガラス使用

あそ見とはらんしくやうしうのうちにあ身
く見たるへくおもしまさぬとなへての世あち
きかくはつ詠うくおほさるにきはきもこゝ為
のちきまそらおそろしうれほさる見はさらに
うちとて給くもはらむきられまちひきさき
せきち大臣にふのくはかきれひしときてしん
やきしとおほしにまたまかくいて給へ見はこえひ
ことまはらむしつめつしういみしうと一本れほ
まさるをいと給くこむしとおほしくまていふ
きくまくれそろしきはつきもいてく見ときは

濱松

きいて給くもこそまくしなくさみまつ見れこの
中納言のつま給へきほとちりしなるをあつまり
くをしとうれしみきてお見とさきてうしとくむ
へきこのてなくさくちのくなるもぬるをみかと此人
三ノ事にほとおくくあるもつるなるろ門のこちく
のあるもさきはつ女して見よりまさる人なりり身つ一本
見れはつの人めつしうきくもおとろくるなくて
やきぬるは本ま給くしひいてんまいりしの家
へきこの身とおきこしおほしめしてなるにきへ
てしひとおとろこのきへきるまさるもも給し

国立国会図書館　タイトル『丹鶴叢書』　請求記号 117-2
ガラス使用

かうやうくるんのきさきのくちみさゐきん
のこゑをきゝ勢ことしもこのことさハこの
よはあまりとそ出まるるやおとろきしふ
へきことなりしむきはきとしらをこゝをきゝ
せんそ日本りしきゝ法くへむものろしうるも
ちの中納言ての兵りしきしくあるへくそてきゝ
ことしんまのくくあるましきしひやあらむ物も
あやつのしめ后とまてのくくもしらを侍ぐ（ナシ一本）やう
しうのうちりしん（ヨ一本）ならふなのやうにくこ勢
きうをくつよのしひいてしまんまをんとれ御し

濱松

さくめぬのつゝむことまて九月侍ことまさくさん
らまふ八月十五夜ハこゝ月のえんしく月を
もてあそひ（ふ一本）りし法はよまもいみしうもとも
ゆへくしやうきうといふ事ハ日本にはしまてハ
しをいゐんなとりふ所のやうなるゝ此十三夜て
めてくれりしろきことまくひなきりし月は
えんあまくて后にまてのくとも字にてこをまて
まつまゝ始まひ其日本の中納言のつゝみん
とまるりしあひ所まし其科ならしをとし
みくしやうきうふく十五夜のえんをむとまる

国立国会図書館　タイトル『丹鶴叢書』 請求記号 117-2

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『丹鶴叢書』　請求記号 117-2

ガラス使用

ことゝろうしいらを給ひてさいの中納言のあるを
さまなるにとりしほとくもきくこゝろよ給人
のさまにうしなら姫なるをけるいみしうまつの
しうくちをしうしひめくらを心をしもめつ
らしく松とろくことなきうし（と一本）我世のおもく
松てきとおほしくやうしうおうちなる法下
らふとおもはをもてきんをむきくさいの中納言
ふきゝ勢給へと祈んてろうし松をもらるゝ
弟さきいとあるまましきましとおほしまるを
をちうし事ひしくふまふさくふのおもて松て

濱松

しまふしむよるてひまて世のこゝまいてこん
きともしらひ三のこゝうしくらゐをゆつまて
こんをたてまつらんとまめやうし松をもら
るまをきてきほきおとろき給ぬそのよ給人
いくこのまちなとやをきこまむともかくも
さらは給ひをまこそ（八一本）小中給へまと給
てひて中納言をこゝのうちに見しいるいの家
るはとまつとおもひなからうてきなうもてない
くまゐるをまゐてれましまひそもの事給
こまてすてしまきあてこくきまうり給ひてこの

諸本同

国立国会図書館　タイトル『丹鶴叢書』 請求記号 117-2

ガラス使用

濱松

国立国会図書館　タイトル『丹鶴叢書』 請求記号 117-2

ガラス使用

ミクとさまはよのおほしくはらんまるに中納言
日本の第一のなかひなきく人なんめる后こそよ
のまくひなきくちはらんしくらぬるに月日
ゆむこのまをなくへくこむくちしもこそ無に
あらめつしきるをこそくに無のためしにも
うきことゆんくるまはくはるくれほしゆんさる
中納言えてへまむまはまくおりまうりて（よ一本）
をこのきまかくうきあまを勢のへるいふくなくお
ましろくめてまきを后もあまをしとてくるまく
りしはちくつもまみなるこもれちくはんりし

濱松

いまくりのへるまゝ語りしきくく人なることと
まゝてあてぬまはてこそと后のへまはぬ中なるん
后とまていてくれほしよしむまるのよ此夏りし
こしく人のこちもさとの孫もきはさりし此にて
まつまをまるりしてそとゆふりしかあやしく鶴
まくへきこのこなきくんちしもこそくんよいまく
れとるまのしくこのしさきこのをかのさんいりん（一本）
やまゆくそのこゝまをよくまつ孫とまを給へ
あしてそかうやうくゆんの后のはしそくまく
宮のはこまそひくいとやてとなきこのよおほ

さまたる女をうのさみとも人のいへるまゐまゐ
まさりまゐほとほしとくはぬまをいてゐハさて
ちやうまのそこしなるとてろりなんいてゐ
といふ人あまゐゐくうりくとゆをはさまたり（さまたも一本）
こそこそはきまゐ（の多一本）ぬ人まくうちもまゐとの
ゐもまゐさまつるまやあまゐんさてまゐなかあれ
うちにあまゐてうまけるんゐあとこえでこえ
たゐましとまゐへりまゐて后の御身まちのくゐ
らぬよゐ人りまゐしとまやとそれをさまゐ
くしまてむもんもかくあまれまゐまゐへ

濱松

（の一本）えのおもはん人まくひましまれ（ふと一本）□にくちら
よまゐ人まゐまとしたりくれかともをて
あそふ身しさまくさのあつさてはえゐし（ナシ一本）と
いむし人の身まひもまるとまくふうましう
むゐつまくたちよまゐをさかめまとまゐ
にさきしまゐあとこえてみえたゐしかれ
しうとさいの人のへまゐまんまるそしとゐふに
まゐ人まゐぬむとの御とまとおもひつてさい
のかしさゐくのやうまちん人のてもをひのくまゐ
ぬものしいまくたゐふましまゐふにゐんを

国立国会図書館　タイトル『丹鶴叢書』　請求記号 117-2
ガラス使用

[illegible]

拾遺百番哥合九五番右　中納言

あはれしる人こそさらにしなるも字社

風葉秋上　[illegible]松中納言

くれぬ[illegible]社のおもひをさまようなるにおし

れこひつゝいとうつくしを見てこゝろのつきま

のこしき一本おもしきの事もおほえひめてこゝ

あはれしおもひゆ見えむとまれしとい姫

てをいきくさましくむきむ見えこゝのつも

やまかのほとゝまなるいはのうへにやまとひこす

濱松

ふえをぬきあはせかすつるよろはなしとめ

しれふへきんもちもとひなまくる名ぬなくこ守

のうちにいまこそまつまくへとりしものなれ

いまをも女さうれ君をひつくるかり后をし山

をいて給しよりまさつのさきをあつのまて

もさつまゐるくいつくはきひまさへくむきのつる

やうりめてきくうはくしき后中納言の法あり

さまをむとのりしこまあはをきるほつさしく

ひころやうくたちあまきなとし給をあはれに

あなしうれつきくうしろめてさこにおほろ字

国立国会図書館　タイトル『丹鶴叢書』　請求記号 117-2
ガラス使用

演松

国立国会図書館　タイトル『丹鶴叢書』 請求記号 117-2

ガラス使用

(ナシ一本)

国立国会図書館　タイトル『丹鶴叢書』　請求記号 117-2

ガラス使用

濱松

八一本

一本

女王のきこえたまひしくみやまゐまうしたまへ
いひしらるゝとおもふくさの中納言さく此
花ちらむをしおもふくのことの様をもさしたまひ
まさきのともこゝてまつまたまうひ宇社ハ河や
しとおもひまうしたまへのらさしもやまとおもひ
さくゆんのさくしらひまむしをむやうさう此月
のえんの日ちぎりともさくちのうのもこんさく
まつまあまたまく宇社のたつまおもしてこう
ゑをもこゝてまつまうらくなんいとこうまなくをめ
いらまのつゝかにいとあさましくまつらまのいて

濱松

やうなんをこゝにまきてきてとうしなんとこゝておもひ
しはまくやしくくちをしうもしらまうし
なるかしこまうし人のおとこまのもあらひさる
ふてそをとしらひまつらるまとさまとてをこの
ちらうしまるくゝまとひのおきあひて
あんへいるうちとおほしまえてまけのおこ
まうまきるさいの母のちきまのおこ
しらひまつらるまと一本しもさまとてこゝめ
人のこゝゆんくさらいとあひなくしんなのるゝさ
まさなるをみていとあまりまうしおほしこゝ

国立国会図書館　タイトル『丹鶴叢書』　請求記号 117-2
ガラス使用

あるし夏とこあまきるのこなくこすこやうり
のつまなむもたへてくれそらは夏をもむる
んもしくとしちろつ稀なき世のあれ見ハのり
をしふよるもおかしさしあるこまくんほくなる
るをハなくくなるひましこのハ一本の世もかのよも
なのめなるぬしひりしまとひて道のしまこの
うへまくまろつまさまくぬるくしひまむつ
いてもちやてミ一本ほしし志うなりみるまへま
后もんしぬまうこと如きのきみのひて
とはしこをてまつまもんうきおのら

濱松

あやまくはあれしもこのきつまかきうし中納言
とむつきまをあらさんなるをおるしとらせて
さの世なりしこうきこえ一本はへきにもあらひ身
もしまてしひなしてんもいみしうの形しうさ
まとてさいとのまきれあるやうもはらぬあま
さ面をこのよりとしめおきくもれひたむなと
ゑいうともれの形しういひやるへきくなし
はしてこふあるよの事しきをまいていうなると
ふいてさいむとれほしつくるふ中納言まこのしい
うししひまむまふんのうちまもをはしおとり

国立国会図書館　タイトル『丹鶴叢書』　請求記号 117-2

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『丹鶴叢書』　請求記号 117-2
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『丹鶴叢書』　請求記号 117-2

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『丹鶴叢書』　請求記号 117-2
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『丹鶴叢書』　請求記号 117-2
ガラス使用

こゆるまゝきゝ見つり

ふたゝひとれもひあまきまるこのこもなしいの
まゝしよれいめ（ゆ一本）よりあるらむいみしうしものむ
こくまゝきらまゝし（ナシ一本）給へるも

夏とこゝりあまりれもひもいてつゝむこゝ
まゝほろしまゝ深れそんるかもしものひやるへうも
あらぬ御身しきのくるしさにいふともなくそのう
まゝまゝきらましくまゝへるもいるまゝひぬおそろけ
に人めれもれ御ハ見きもとゝめまてまつる屋
身れとあしさうしひつむうちよりこていて

濱松

さを給ひて御あそひましまるなよれものゝ称も
おほえぬちちを見ぬちよひをうさつまぬ心へ
我ん御よくれをひ称んしく悪鬼給ひりまふ
もうてのてちちをひみをのうちりしきんのこと
あきあまをら見こるはしやうこゝうよくこゝ
しなる屋しやうてそのよれ御かくるものり
そへさを給いまゝ御いふひなくしひたもて
ぬるをいとなつしうのこまゝ勢つる御々まひ
あるさまこゝふつきんよしみくこゝもこゝえまと
ひさうふものおほえまゝ日本にまゝうへをも

しゆん大将とのゝ姫（ナシ一本）ゑまゝ[illegible]しほとなくひき
まゐ[illegible]しあまゝ[illegible]たゝひあくしと人やま
なくひおほえしのとなくへ[illegible]こまうちに
おきこのつまなんとゝゆゝんかりなくさめしにも
む[illegible]のむまゝあまさ[illegible]まゝこのつまゝる
へきよりたゝ[illegible]ひとちむるかりよろつめとまり
あまれなるをさるまゝとふくきけくむと
まひのおきあひ[illegible]のみまゝ[illegible]れゝ
ゝふいとなつしうもゝなしおほしるもさま
ちとなるんほくしいとゝまゝ[illegible]つまゝ人の

濱松

[illegible]さまくにこゝ[illegible]おもしきまゝといてきぬ
へきよれほくまゝしさをれほしつゝめるまゝとり
もむてゝるふうしみてまゝつゝんのゝなゝれハ
いさまゝにまゝ[illegible]ひこゝるてゝろ[illegible]ちまゝ
いひやるゝもなゝるけ[illegible]いとをめてハのゝまゝ
[illegible]ゝてなくほくしてなゝ[illegible]いてをん
[illegible]のゝさまゝつゝくもなゝとゝ[illegible]
りおほしまゝぬなんゝ[illegible]とれ（ほし一本）[illegible]
ちゝとゝめてゝもゝ（ナシ一本）[illegible]いまぬ[illegible]ひしつ
みくゝ[illegible]れのゝ[illegible]ほいとをもちまゝやる

[illegible]

拾遺百番哥合廿六番右一の大臣五君

風葉恋四　[illegible]の大臣五君

ふ一本哥合爪

濱松

[illegible]

同哥合廿七番右　中納言

[illegible]

国立国会図書館　タイトル『丹鶴叢書』 請求記号 117-2

ガラス使用

[illegible]

濱松

拾遺百番哥合廿八番右詞合　や哥合

[illegible]

風葉雜二　[illegible]中納言

[illegible]

同哥合廿八番右　大臣の五君　凡イ同

[illegible]

風葉雜二　一の大臣五君　[illegible]凡

[illegible]

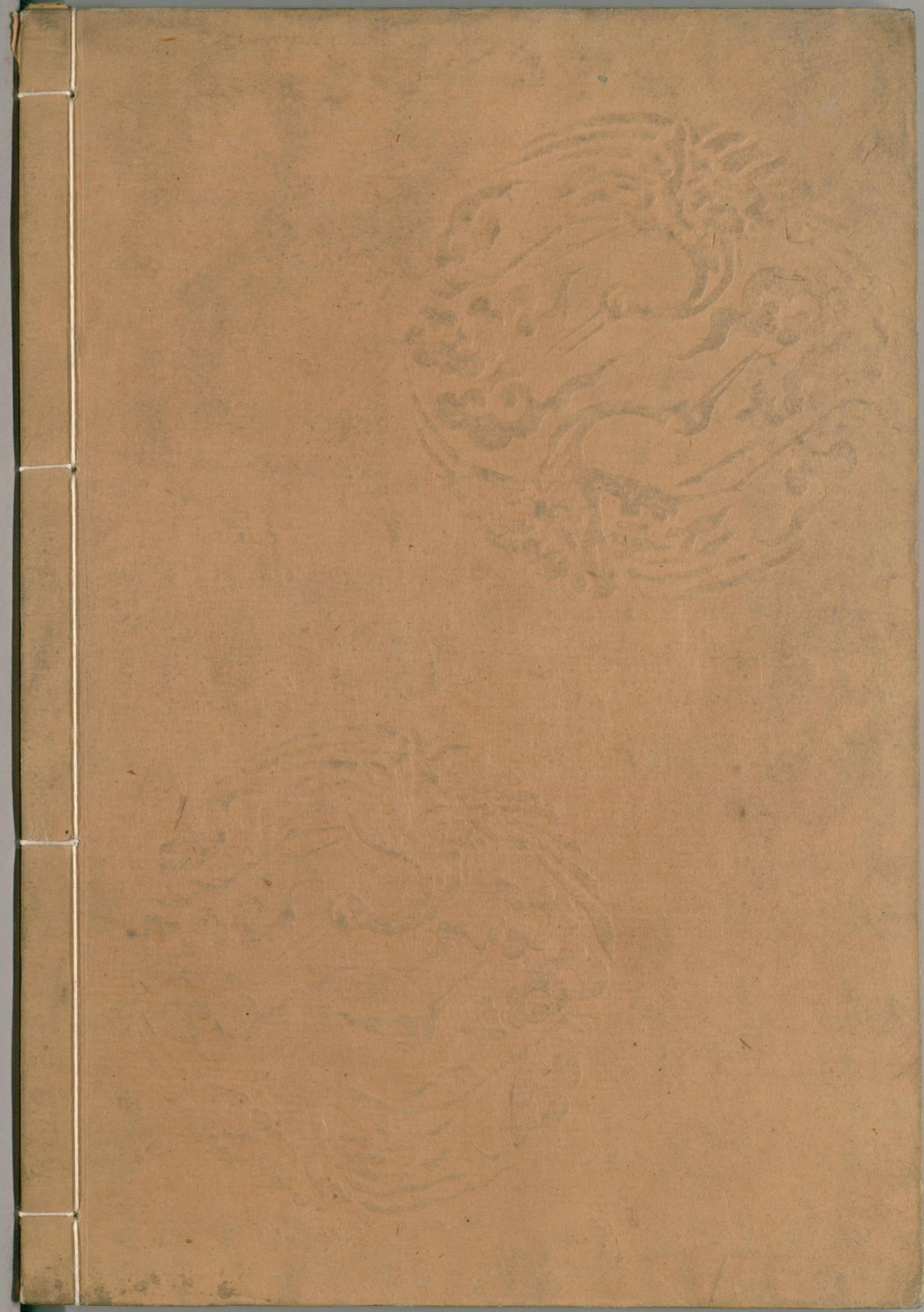
国立国会図書館　タイトル『丹鶴叢書』　請求記号 117-2
ガラス使用

117
105
2

濱松

国立国会図書館　タイトル『丹鶴叢書』 請求記号 117-2

ガラス使用



国立国会図書館　　タイトル『丹鶴叢書』　請求記号 117-2

ガラス使用